



# 四中ニュース

令和5年10月吉日  
荒川区立第四中学校

都内でも有数の設備を持つ施設で、競技しました。  
東京都陸上競技大会 D組参加 10月5日(木)

10月5日(木)、駒沢オリンピック公園総合運動場で行われた東京都特別支援学校・特別支援学級設置学校総合体育大会陸上競技大会に、D組が参加しました。D組ではこの大会に向けて、朝のトレーニングや体育の授業を使って、スタートの練習や出場種目に合わせた練習に毎日取り組んできました。



入賞した尾島治弥さん(400m・2位)

当日は肌寒さを感じる朝でしたが、生徒たちは元気にバスに乗り込み会場に向かいました。駒沢オリンピック公園に到着、400mトラックのある本格的な陸上競技場を目の前になると、さすがにその大きさには圧倒されるものがあり、生徒たちは思わず「緊張する!」と何回も口にしていました。大会が始まり、自分の出場種目の時間が近づくと緊張が高まっていますが、ウォーミングアップで体を温め、いざ出走!というときには落ち着くことができ、みんなしっかりと全力で走り切ることができました。

日頃走ることでできない競技場を走り、他校の生徒と競い合うなど、貴重な体験となったとともに、友人がトラックに登場するたびにスタンドから名前を叫ぶなどしてお互いに一生懸命応援するなど、D組として協力して取り組むことができ、楽しい一日となりました。



参加した生徒たち

小気味よい小咄とともに、メッセージが伝わる講演会でした

道徳授業地区公開講座 10月6日(金)

東京都では、各校で「道徳授業地区公開講座」が実施されていますが、本校では例年、この機会に外部の方においでいただき講演・ライブ等を開催、日頃の授業とは違う側面から道徳について考える取り組みを行っています。一昨年は「日本一学校を回るお笑いコンビ」「オシエルズ」を講師に招聘し「人を傷つける笑い・傷つけない笑い」をテーマに講演会とお笑いライブを開催し、昨年は「歌う道徳講師」の異名を持つ大野靖之さんをお呼びし「命、家族、夢」をテーマに実施しました。

今年は10月6日(金)、大島 希巳江さんを講師としてお呼びしました。本校では7年前、オリンピック・パラリンピックの授業でお呼びして以来のご来校になります。英語の教科書にも載っている大島さんは、コミュニケーション全般、及び英語教育における「笑いとユーモアの効果」を専門研究としており、英語習得に効果のあるユーモアやジョークについてなど、幅広い講演活動を行っています。



国際理解に関する講演



英語を交えた落語

今回の講演&英語落語のテーマは「Laugh&Peace~」。前半の講演では、「英語落語海外公演エピソード」などを交えた国際交流の様子をお話ししていただきました。また、後半は英語落語の「動物園」をご披露いただきました。この演目は海外でとても人気の高い日本の落語だそうです。「アルバイト求む!動物園」というチラシを持った若者が動物園を訪れ・・・、という小咄です。生徒たちは、その巧みなお話とユーモアとともに、そのなかにあるメッセージをしっかりと受け取っていたようでした。終了後、生徒は教室に戻り、お礼のお手紙を書きながら、自分の考えをまとめていました。

今後も、こうした機会を活用しながら、道徳教育の充実を図っていきたいと思います。ご来校いただいた地域の方々、保護者の皆さま、ありがとうございました。大島希巳江さん、本校のためにおいでいただき、誠にありがとうございました。

### 大島 希巳江 さん プロフィール

神奈川大学国際日本学部国際文化交流学科教授。専門は異文化コミュニケーション学、社会言語学、ユーモア学。英語落語家として教科書に登場している。

おもな活動として、1997年から毎年「世界平和に貢献したい」という思いを意識しながら英語落語の海外公演ツアーを行っている。また、ユーモアの発信は世界を平和にする。これが事実であることを、いつかこの目で確認したい。というお考えを持っている。(Wikipedia より。一部抜粋)

## 地域行事に企画運営スタッフ&当日ボランティアとして参加しました

### 「こどもオリンピック」 ボランティア参加 10月9日(月・祝)

本校では、社会貢献活動・地域奉仕活動を奨励しています。今回は、10月9日(月・祝)に3年ぶりに開催された荒川地区委員会主催行事「こどもオリンピック」にボランティアとして参加しました。「こどもオリンピック」は、主に本校区の小学校(峡田小、第二峡田小、第三峡田小)の1~3年生を対象にしたイベントで、今回は80名あまりの児童の申込みがありました。四中生徒は、企画運営スタッフ(事前の2回の会議に出席)と当日ボランティア(各種目運営、参加者誘導)を担当しました。



ボランティア①(片足暗算)



ボランティア②(びりびりへび)

当日は、会場である生涯学習センター(旧八峡田小学校)の体育館・会議室等を使い、10競技をグループごとに巡って記録を競う方法で行われました。そのなかで四中生は、会場設営にはじまり、「片足暗算」「びりびりへび」等の各競技ブースの運営や競技グループの誘導など、地域の方々に教えていただきながら、運営に参加しました。そのなかで、地域の小学生を笑顔にする楽しさ、地域の役に立つこと喜びなど、充実感を味わうことができました。

四中生にとって、このイベントは自分たちもかつて楽しんだものであり、中学生となった今、今度は運営側として関わっている姿は、地域の一員として頼もしく感じると共に、この催しの意義の一つだと思いました。参加した生徒自身にとっても得ることの多い催しとなりました。今後も、こうした“社会貢献”“地域貢献”の機会には、四中生が参加・体験してくれるといいなあと思います。参加してくれた生徒のみなさん、ご苦労様でした。

### 参加してくれた生徒のみなさん (○の数字は学年)

上条 琉希①、東真奈美①、廣井 なごみ②、高岡 佑奈②、太田 心優②、田代 ひろな②、須藤 結衣③、雲藤 花音③、式部 美風③、手島 百栞③、寺久保 流星③  
平出 愛③、柚木 汐香③ <敬称略>